



ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前 9:00~午後 6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利
用はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 1SR

1 609 92A 1SR (2016.02)

バッテリードライバードリル PSR 1080LI-2



BOSCH

取扱説明書

このたびは、弊社/バッテリードライバードリルをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

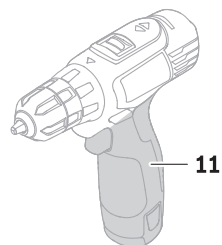
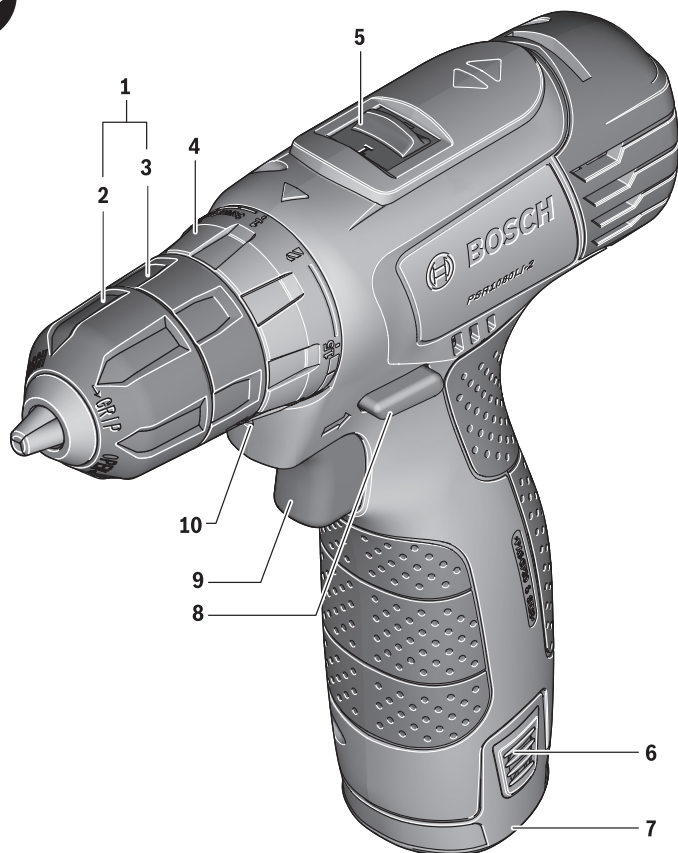
- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

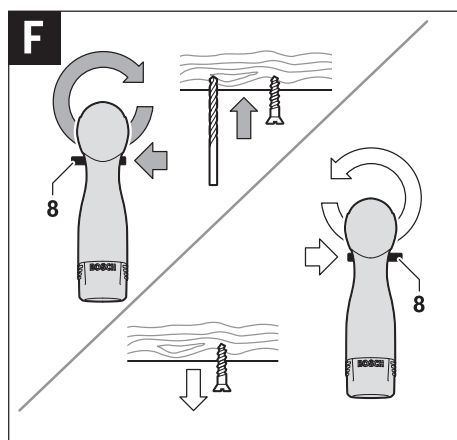
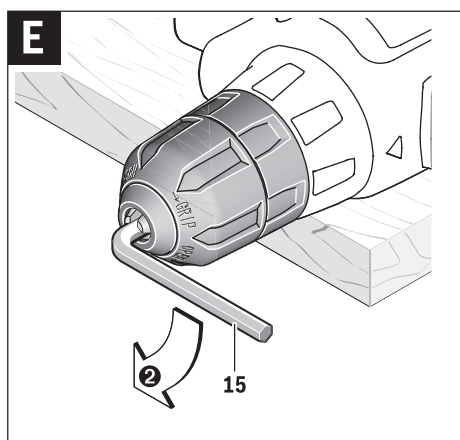
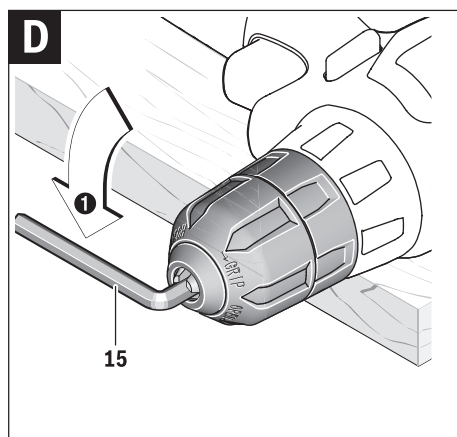
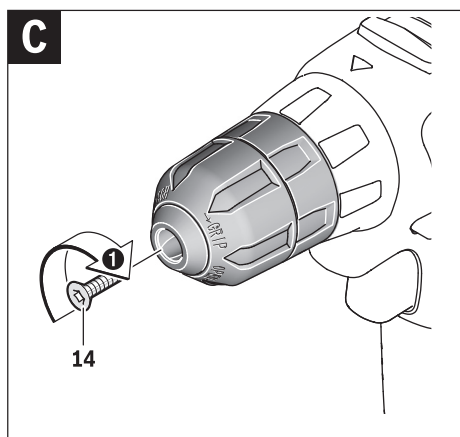
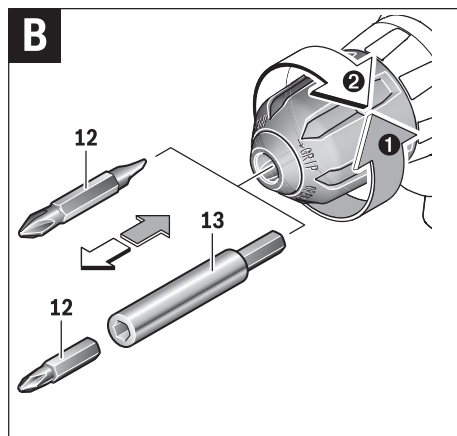
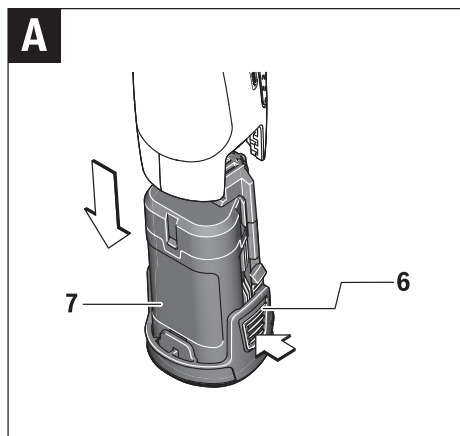


安全上のご注意.....	6
電動工具・安全上の警告	6
作業場の安全.....	6
電源の安全.....	6
作業者の安全.....	6
電動工具の使い方とお手入れ.....	7
バッテリーの使い方とお手入れ.....	7
修理.....	7
ドリルビットとドライバークリの安全上の警告	8
各部名称と仕様.....	9
用途	9
各部の名称	9
仕様	9
騒音・振動について	9
適合宣言 CE	10
取り付け、操作方法.....	10
バッテリーの取り外し	10
先端工具の交換	10
ドリルチャックの交換	11
固定ネジの取り外し.....	11
ドリルチャックの取り外し.....	11
ドリルチャックの取り付け.....	11
粉じん・切り粉の処理	11

操作.....	11
起動操作	11
バッテリーの装着.....	11
回転方向を反転させる.....	12
トルクの設定.....	12
ギア切り替え機構.....	12
メインスイッチの ON/OFF	12
回転速度の調節.....	12
温度監視による過負荷保護.....	12
作業上の注意	12
保全と修理.....	13
保全と清掃	13
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	13
修理を依頼するときは	13
輸送	14
廃棄	14



PSR 1080LI-2



安全上のご注意

電動工具・安全上の警告

 **警告** 安全上の警告と取扱説明書をすべてよくお読みください。

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、「安全上のご注意」を必ず守ってください。

お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

注意事項表記の「電動工具」はお手元のコンセント式（コード式）電動工具、またはバッテリー式（コードレス式）電動工具を指しています。

作業場の安全

- ▶ 作業場は、いつもきれいに保ってください。ちらかった場所や暗い場所は事故の原因となります。
- ▶ 可燃性の液体、ガスやほこりのある場所では使用しないでください。電動工具から発生する火花がほこりや気体に引火する恐れがあります。
- ▶ 電動工具使用中は、子どもや周囲の人を近づけないでください。気を取られると操作を誤る恐れがあります。

電源の安全

- ▶ 電動工具のプラグとコンセントは対応している必要があります。絶対にプラグを加工しないでください。アースした（接地した）電動工具にアダプタープラグを使用しないでください。プラグを加工せず、対応したコンセントを使用することで、感電の危険を低減できます。
- ▶ 配管、ラジエーター、冷蔵庫などの接地された表面に身体が触れないようにしてください。身体が接地箇所に触れると感電をする危険性が増えます。
- ▶ 電動工具を雨や濡れた環境にさらさないでください。電動工具に水が入ると感電する危険性が増します。

- ▶ コードは丁寧に扱ってください。コードを持って電動工具をぶら下げたり、コードを引っ張って、コンセントから抜いたりしないでください。コードを熱や油、鋭利な角や動作中の部分などに近づけないようにしてください。傷ついたり絡まったりしたコードでの作業は感電の危険が増します。
- ▶ 屋外で電動工具を使用する際には、屋外用延長コードを使用してください。屋外用コードの使用により、感電の危険を低減できます。
- ▶ 湿った場所で使わざるを得ない場合は漏電遮断器（RCD）で保護された電源を使用してください。漏電遮断器（RCD）は感電の危険性を低減します。

作業者の安全

- ▶ 常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用したりしているときには、電動工具を使用しないでください。電動工具操作中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
- ▶ 保護具を着用してください。保護メガネは必ず着用してください。状況に応じて、防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、防音保護具などの防護用具を使用することで、けがの危険を低減できます。
- ▶ 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。必ずスイッチが「切」になっているか確かめた上で、電源やバッテリーに接続したり工具を持ち上げたり、移動したりしてください。電動工具を手にしている際にスイッチ部分に指が触れたり、スイッチが「入」状態で電動工具に通電したりすると事故の原因になります。
- ▶ 電源スイッチに指をかけて運ばないでください。事故を誘発する恐れがあります。
- ▶ 電源スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具が取り外されていることを確認してください。電動工具の回転部にキーやレンチが装着されているとけがをする恐れがあります。

- ▶ 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足場をしっかり固め、バランスを保つようにしてください。予期しない状況が生じた場合でも、電動工具をより確実に操作できます。
- ▶ きちんとした服装で作業してください。髪の毛、衣服、手袋等は回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具や長い髪の毛は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ▶ ご使用の電動工具に排じん口や集じん装置がある場合には、それらが適切に接続され、正しく使用されているか必ず確認してください。集じん装置を使用すると、身体への粉じんの影響を低減できます。

電動工具の使い方とお手入れ

- ▶ 無理して使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。適切な電動工具を使用することで、安全且つ効率の良い作業が行えます。
- ▶ スイッチのオン・オフが効かない電動工具は使用しないでください。電源スイッチで操作できない電動工具は大変危険です。修理を依頼してください。
- ▶ いかなる調節や付属品の交換、また収納する場合はまず電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーを取り外してから行ってください。誤って電動工具が起動するのを未然に防ぎます。
- ▶ 必ず最初にプラグを電源から抜いたり、バッテリーを外したりしてから、調整・付属品の交換・電動工具の保管をしてください。このような安全上の配慮によって、電動工具を意図せず作動させてしまう危険を低減できます。
- ▶ 電源につないだ、あるいはバッテリーが装着された電動工具は、子どもの手の届かないところに置いてください。電動工具に慣れていない人やこれらの使用説明を読んでいる人に電動工具の作動をさせないでください。使用方法を知らない人が使用すると電動工具はたいへん危険です。

- ▶ 電動工具の保全をしてください。取り付けは間違いないか、可動部分が正しくしっかりとセットされているか、各部品の損傷がないか、その他問題がないかチェックして、電動工具の使用に問題がないことを確認してください。損傷などあれば、使用せずに修理をご依頼ください。多くの事故は、点検作業を怠ったときに起きています。
- ▶ 切削工具は研いできれいにしておいてください。先端が研がれた切削工具はひかりにくく取り扱いも容易です。
- ▶ 取扱説明書に従い、また作業環境と作業内容を考慮しながら電動工具、付属品並びに先端工具を使用してください。能力以上の作業に使用することは危険です。

バッテリーの使い方とお手入れ

- ▶ 専用の充電器以外では、充電しないでください。対象外のバッテリーを充電すると発火する恐れがあります。
- ▶ 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。指定外のバッテリーを装着すると、本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
- ▶ バッテリーを使用しないときは、端子間を短絡させ易い金属製のもの（クリップ、硬貨、カギ、釘、ネジその他）を近づけないでください。バッテリー端子が短絡すると、やけどや火災の原因となります。
- ▶ バッテリーを乱暴に扱うと液漏れが発生する場合があります。その場合、直接手で触れないでください。誤って触れた場合は水で十分洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。バッテリーから漏れた液は炎症ややけどをもたらす恐れがあります。

修理

- ▶ 電動工具の修理は、純正品を使用する認定サービスセンターに依頼してください。正規サービスへの依頼で、電動工具の安全性が保たれます。

ドリルビットとドライバー工具の安全上の警告

- ▶ 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。先端工具が通電している配線に接触すると、本体の金属部にも通電し、作業者が感電する恐れがあります。
- ▶ 電動工具に補助ハンドルなどが同梱されているときは、それらを使用してください。制御を失うとけがの原因になります。
- ▶ 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
- ▶ 先端工具がかじった場合、速やかにメインスイッチから指を離し、“切”にしてください。大きな反動トルクが発生する恐れがあります。
先端工具がかじる要因として
 - 電動工具が過負荷状態になった場合
 - 先端工具が製品に引っかかった場合
- ▶ 本体をしっかり握ってください。ネジを締めたり緩めたりする際に、一時的に大きな力がかかることがあります。
- ▶ 加工するものをしっかり固定してください。加工するものをクランプなどで固定した方が手で保持するより安全です。
- ▶ 回転が完全に止まるまで床に置いたりしないでください。完全に停止してから置かないと、事故の原因になります。
- ▶ 決してバッテリーを分解しないでください。回路が短絡する恐れがあります。



バッテリーを日光に長時間当てるなどの熱や、火、水、湿気にさらさないでください。破裂する危険があります。

- ▶ 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者診断を受けてください。蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
- ▶ ボッシュ電動工具専用のバッテリーを使用してください。たいへん危険なバッテリーへの過負荷を避ける唯一の方法です。
- ▶ バッテリーは、釘やドライバーなどがったものや外からの強い力で傷つく場合があります。内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。

各部名称と仕様



安全上の注意事項と取扱説明書を全てお読みください。火災、感電、けがまたは事故を未然に防ぐため、安全上の注意事項を必ず守ってください。

用途

本製品は、ネジの締め・緩め、また木材・金属・セラミック・プラスチックへの穴あけに使用してください。

この電動工具のライトは、作業を行う個所を直接照らすもので、家庭用の部屋の照明には適しません。

各部の名称

製品名称の番号は 4 ページを参照してください。

- 1 キーレスチャック
- 2 フロントスリーブ
- 3 リアスリーブ
- 4 トルク調整リング
- 5 ギア式 2 段変速スイッチ
- 6 バッテリー取り外しボタン
- 7 バッテリー*
- 8 正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ
- 9 メインスイッチ
- 10 LED ライト
- 11 ハンドル（絶縁されたグリップ）
- 12 ドライバービット*
- 13 ビットホルダー*
- 14 キーレス・チャック用固定ネジ
- 15 六角棒レンチ**

* 標準出荷時に含まれません。付属品全般の概要は付属品要領で確認することができます。

** 購入可能（ただし、出荷時は含まれません）

仕様

バッテリードライバードリル

品番	PSR 1080LI-2	
定格電圧	V	10.8
無負荷回転数		
低速	min ⁻¹	0 ~ 450
高速	min ⁻¹	0 ~ 1650
最大トルク		
剛性体締め付け時	N・m	20 ^{*1}
弾性体締め付け時	N・m	11 ^{*1}
仕様は ISO5393 に準拠する		
最大穴あけ能力		
鉄工	mm	6
木工	mm	20
ネジ締め（最大径）	mm	6
チャック把握範囲	mm	0.8 ~ 10
スピンドル・ネジ山	mm	9.5
質量	kg	1.0
充電可能温度範囲	°C	0 ~ +45
使用／保管可能温度範囲	°C	-20 ~ +50 ^{*2}

※1 使用するバッテリーによります。

※2 0°C以下の環境では、設計上の十分な動作ができません。

騒音・振動について

発生する騒音値は、EN60745-2-1 に準拠しています。

特に製品の A 特性・騒音レベルは 74dB(A)、不確実さ K=3dB です。

作業中の騒音レベルは 80dB(A) を超える場合があります。

防音保護具を着用してください！

振動合成値 ah（3 軸合成値）と不確実さ K の測定は EN60745-2-1 に準拠しています。

金属への穴あけ
: ah=2.5m/s²,
K=1.5m/s²

ドライバーとしての使用:
ah=2.5m/s²,
K=1.5m/s²

この資料に記載された振動レベルは EN60745 で示されたテスト基準に則って測定された値です。また、個々の工具を比較する場合にも使われます。人体への影響の暫定評価として使われることもあります。

提示された振動レベルは、標準使用の場合を指します。しかし、異なる付属品や先端工具を使って仕様外の使い方をした場合、あるいは工具本体の保全が不備であった場合、振動レベルが異なることがあります。これは作業の全工程を通して人体への影響が格段と増大する可能性があります。振動による人体への影響レベルは工具の電源が切られている場合や、電源は入っているがアイドリング状態の場合も考慮すべきです。これは作業の全行程を通して人体への影響レベルを格段と低減する可能性があります。

振動から作業者を守る、現場での更なる安全対策も講じてください。例えば、工具・付属品の手入れ、手先を暖かく保つ、作業手順の体系化など。

適合宣言 (CE)

われわれは当社単独の責任において、仕様詳細に示された製品が、2009/125/EC (欧州委員会規則 1194/2012)、2011/65/EU、2004/108/EC (2016 年 4 月 19 日以前) または 2014/30/EU (2016 年 4 月 20 日以降)、2006/42/EC の諸指令の関連条項とその修正すべてに適合していること、また EN60745-1、EN60745-2-1、EN60745-2-2 の規格に準拠していることを宣言します。

技術資料 (2006/42/EC) 保管地：

Robert Bosch GmbH, PT/ETM9,

70764 Leinfelden-Echterdingen, GERMANY

ヘンク・ベッカー

ヘルムート・ハインツェ

副社長

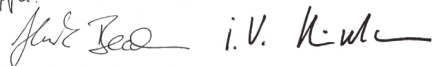
ルマン

技術部門

製品認証責任者

PT/ETM9

Rpa:



Robert Bosch GmbH, Power Tools Division
70764 Leinfelden-Echterdingen, GERMANY
2015 年 9 月 5 日

取り付け、操作方法

バッテリーの取り外し (図 A 参照)

取扱説明書に記載されている充電器のみを使用してください。

記載されている充電器のみが電動工具用リチウムイオンバッテリーに適合します。

備考: 付属のバッテリーは出荷時に多少充電されていますが、初めて使用される場合は、充電器でバッテリーをフル充電し、完全に充電されたことを確認してください。

リチウムイオンバッテリーはその寿命を縮めることなくいつでも充電が可能です。

充電を途中でやめてもバッテリーを傷めることはありません。

本機には、電子セル保護システム (ECP 機能) がついております。本体が過負荷になった場合や、バッテリーが過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

▶ **自動で電源が“切”になったときは、スイッチを引き込み続けしないでください。**
バッテリーが破損する恐れがあります。

取扱説明書の指示に従って廃棄してください。

バッテリー **7** を取り外すには、バッテリー取り外しボタン **6** を押して電動工具の後方へ引っ張り出してください。**その際無理な力を加えないでください。**

先端工具の交換 (図 B 参照)

キーレスチャック **1** のリアスリーブ **3** をしっかり掴み、フロントスリーブ **2** を①の方向に回して先端工具が挿入できる大きさまでチャックを開きます。
先端工具を挿入します。

キーレスチャック **1** のリアスリーブ **3** をしっかり掴み、フロントスリーブ **2** を②の方向に回して先端工具を固定します。

先端工具を取り外すときは、再度フロントスリーブ **2** を反時計方向に回します。

ドリルチャックの交換

固定ネジの取り外し (図 C 参照)

キーレス・チャック **1** は固定ネジ **14** で回転軸に固定されています。

キーレス・チャックを最大まで開き、固定ネジ **14** を①の方向へ回して緩めます。

固定ネジは逆ネジになっています。

ドリルチャックの取り外し (図 D 参照)

キーレス・チャック **1** に六角棒レンチ **15** の短い側を挿入します。

本体を平らな表面に設置します。(例えば作業台など)

本体をしっかり支え、六角棒レンチ **15** を①の方向へ回してキーレス・チャックを緩めます。

緩まない場合は六角棒レンチ **15** に軽く衝撃を与えてください。

緩んだら、六角棒レンチ **15** をキーレス・チャックから取り外します。

キーレス・チャックを完全に取り外します。

ドリルチャックの取り付け (図 E 参照)

キーレス・チャック **1** は取り外しの逆の手順で装着できます。

ドリルチャックは約 1.5 ~ 2.0 Nm のトルクで締め付けてください。

固定ネジ **14** を反時計回り方向に回し、キーレス・チャック **1** の中へねじ込みます。

必ず新しい固定ネジ **14** を使用してください。

同じ固定ネジを複数回使用すると、ネジ山に付着したネジロックが効果を失います。

粉じん・切り粉の処理

▶ 鉛コーティングしてある材料やある種の木材、鋳物や金属を切断するときには発生する粉じんは、健康に悪影響を与える恐れがあります。作業者や見学者が粉じんを触ったり吸い込んだりすると、アレルギー反応、あるいは呼吸器感染症を引き起こす可能性があります。

オーク材やブナ材の粉じん、特に木材処理添加物(クロム酸、防腐剤)を使用している場合は、発がん性があると考えられています。アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。

- 高度な粉じん処理を行うには、本機と一緒に適切な吸じんシステムを使用してください。
- 作業場の換気を良くしてください。
- RS2/RL2 クラスのフィルター付き防じんマスクの着用をお勧めします。

作業を行う材料に関して、関連規則を遵守してください。

▶ 作業場での粉じんの堆積は避けてください。容易に発火する恐れがあります。

操作

起動操作

バッテリーの装着

▶ 電動工具の銘板に記載されている電圧のボッシュ純正リチウムイオンバッテリーのみを使用してください。他のバッテリーを使用すると、けがや発火につながる恐れがあります。

不用意な起動を避ける為、正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ **8** を真ん中の位置に設定してください。

充電済みのバッテリー **7** を電動工具のハンドルに装着します。

完全にロックがかかるまでバッテリーを押し込んでください。

回転方向を反転させる（図 F 参照）

正転・逆転・安全ロックスイッチ **8** は電動工具の回転方向を反転させる場合に使用します。

しかし、メインスイッチ **9** が引き込まれているときは作動しません。

右回転: 穴あけやネジ締めを行う場合、正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ **8** を左方へ止まるところまでスライドさせてください。

左回転: ネジを緩めたり取り外したりする場合、正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ **8** を右方へ止まるところまでスライドさせてください。

トルクの設定

トルク調整リング **4** は 15 段階のトルク調整が可能です。

正しいトルクが設定されると、ネジが材料の表面に到達するか設定トルクに到達すると回転を止めます。

“” の位置にすると、過負荷クラッチが無効になります。

ネジを緩めるときは、トルクの高い設定または “” の位置にしてください。

ギア切り替え機構

ギア式 2 段変速スイッチ **5** は電動工具がアイドリング状態で切り替えられます。

ギア式 2 段変速スイッチ **5** は 2 段階の回転速度が選択できます。

ギア 1: 低速回転（ドライバーや径の大きいドリル用）

ギア 2: 高速回転（径の小さいドリル用）

ギア 2 段変速スイッチ **5** が端まで押し込めない場合はキーレスチャックを軽く回してください。

メインスイッチの ON/OFF

電動工具を起動させるにはメインスイッチ **9** を引き込んでその状態を保持してください。

停止させるにはメインスイッチ **9** を離してください。

必要なときのみメインスイッチを引き込むことでエネルギーの消費を抑えられます。

回転速度の調節

メインスイッチ **9** の押し込み加減で回転速度が調節できます。

軽く押し込むと低回転となります。

更に押し込むと回転が増します。

温度監視による過負荷保護

仕様通りの使い方をする限り電動工具は過負荷状態になることはありません。

過負荷状態やバッテリーの許容温度を超えた場合、電子制御が働き回転速度が遅くなります。

温度が許容温度範囲に戻るまで回転速度は戻りません。

作業上の注意

▶ **必ず電源「切」の状態**で電動工具をネジに当ててください。回転しながらですと先端が滑ってうまくかみ合わないことがあります。

長時間低速回転下で作業を続けたあとは、約 3 分間無負荷状態で高速回転をさせ、電動工具を冷やしてください。

金属へ穴をあける為には、先端がしっかり研がれた HSS ドリルビットのみを使用してください。

ボッシュアクセサリーの使用で適切な品質が保障されます。

硬い材料に対しより大きく長いネジを挿入する際は、一旦下穴をネジ山の谷に相当する径で約 2/3 ほどの深さまで開けることをお勧めします。

保全と修理

保全と清掃

- ▶ 電動工具を触るいかなる場合も（例えば保守、工具交換その他）、また運搬や保管をする場合、必ずバッテリーを本体から取り外してください。誤ってメインスイッチ 9 に触るとけがをする恐れがあります。
- ▶ 安全且つ適切な作業を行う為に 電動工具本体と通気用スロットは常にきれいにしておいてください。

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人 J B R C に加盟し、使用済みバッテリー工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、または J B R C リサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

この電動工具は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

修理を依頼するときは

- ◆ 取扱説明書を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル
0120-345-762

土・日・祝日を除く、
午前 9 : 00 ~ 午後 6 : 00

※ 携帯電話からお掛けのお客様は、
TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。
コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒 360-0107 埼玉県熊谷市千代 39
TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター 西日本

〒 811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1
TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

輸送

リチウムイオンバッテリーは、バッテリーに含まれる金属リチウムの量によって、梱包方法や輸送方法、特例規定が定められています。使用者がバッテリーを陸上輸送する場合には、その限りではありません。

第三者（例：空運・海運業者など）が輸送する場合には、梱包・ラベル表示について、特別な規則に従う必要があります。発送する前に、専門家に助言を得る必要があります。

バッテリー外面にキズなどある場合は、輸送しないでください。

露出した端子などにはマスキングをして、梱包内部で動かないように荷造りしてください。

必要な場合には法律に従ってください。

廃棄



電動工具・充電用バッテリー・付属品・パッケージなどは、法令や各自治体の定める方法に従って分別処理してください。